



ふくえい、ざより

題字：東品川在宅サービスセンター・露雪 文子さん



写真▶(右回り) 自衛消防技術審査会、第2回ぐるっぽまつり、炊き出し訓練、合同防災訓練

今号の主な記事

ぐるっぽまつり.....	2
炊き出し訓練.....	3
総合防災訓練.....	4

東海中学職業体験.....	5
海外研修報告.....	6~7

第2回「ぐるっぽまつり」を開催しました

10月20日（日）、障害児者総合支援施設（ぐるっぽ）にて『第2回ぐるっぽまつり』を開催しました。開会式には品川区より障害者支援課長様をはじめ、近隣の三睦会町会長様等が来賓としてご出席され、祝辞を頂戴いたしました。また、近隣住民の方や、利用者さん等も参加し賑やかな中、祭りの開会が宣言されました。

駐車スペースには模擬店が並び、大きな鉄板で、お好み焼きや、焼きそば、そして薪で炊きだした豚汁等を販売しました。販売開始前より美味しそうなにおいが充満し、皆さまのご期待を感じながら、職員総出で調理にあたりました。販売を開始しますと、即座に模擬店前は沢山の人がだかりができ、ご好評をいただきました。また、収穫したばかりの大根の販売やノベルティグッズの無料配付も行われ、お帰りのお土産として喜んでいただきました。

館内には利用者さんの作品の展示や子ども発達相談コーナー等を設置。また地下ホールに子ども遊び広場を設けたことで、子ども達の楽しそうな声が

館内に響き渡っていました。

「ぐるっぽ」という愛称には、多くの方がこの施設を訪れ交流していただくことで、「障害のある人もない人も、地域の中で共生する社会をつくっていきたい」という思いが込められています。

これからも「ぐるっぽ」は、地域の中で皆様に頼っていただける身近な場所として、その思いに添えるよう努めてまいります。沢山の皆さまとふれあえたことにスタッフ一同感謝の気持ちでいっぱいです。また皆様にお会いできることを楽しみにしております！

（ぐるっぽ 富樫）



開会式



作品展示



大盛況！

第9回 ふれあい広場 オータムフェスティバル

10月26日（土）、西大井六丁目にあるふれあい広場にて、『第9回ふれあい広場オータムフェスティバル』を開催しました。開会式では近隣四町会の会長の皆様が来賓として出席され、開会の挨拶を頂いた後、クラッカーを合図にイベントが始まりました。

感染予防対策をしながらの開催ではありましたが、来場された方々には、お好み焼きや焼きそばなどの模擬店の他、ウクレレ演奏やフラダンスなどのアトラクションを楽しんでいただきました。また、蛇窪神社の地域マスコット「くぼっち」も参加し、にぎやかにフェスティバルを開催することができました。ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました。

（大塚）



炊き出し訓練を実施しました

11月14日(木)、事業継続計画(BCP)に基づき、「炊き出し訓練」を実施しました。

今年は、炊き出し用ドラム缶や大鍋等の備品の保管場所を参加者全員で確認した上で設置場所までの移動方法なども確認しながら作業を進めました。また、前回担当した職員と未経験の職員を組み合わせ、薪の焚つけ、大鍋での豚汁づくり、炭を使用した焼き芋、アルファ化米を使ったおにぎり作り等、初めて担当する職員へ申し送りを行いながら訓練を実施することができました。

新型コロナウイルス感染症が落ち着いたこともあり、近隣の保育園3園及びぶりすくーる西五反田の園児さんにも参加いただき、皆さんに訓練で作ったおにぎりや焼き芋を試食していただきました。

訓練は、中庭にあるかまどベンチの使用法や間伐材ベンチの新利用など、より事業継続を意識したプログラム内容にしています。

(総務課)



福栄会

感染症予防研修について

福栄会では、感染症対策として、保健師等による座学及び実践研修を実施しています。

今年は、集合研修に合わせ映像配信や録画配信と今までの研修とはスタイルを変更して行いました。

講師には、感染管理認定看護師の榮留富美子さんをお招きし、新型コロナウイルス感染症予防とノロウイルス感染症予防の2種類の研修を1セットとして計3回行いました。内容は、コロナウイルスやノロウイルスの理解、感染予防方法、マスク、手袋の装着方法等を講師の実演を交えながら学習しました。

職員自身がクラスターの発生源にならないよう一層努めてまいります。

(総務課)



近隣四町会

合同防災訓練の実施



11月3日(日)、近隣四町会・品川消防団・品川消防署・品川警察署の協力の下、晴楓ホーム5階を火点とした日中想定合同防災訓練を実施しました。

今年の訓練内容は、地震発生時の安全確保、館内での職員による消火訓練、避難誘導、町会応援者の方々と協力しての屋外への避難誘導、ハシゴ車による6階ベランダからの避難訓練を行いました。

ハシゴ車による避難は、消防署員の皆様、足場の固定やハシゴの長さなどを確認しながらバスケットを6階ベランダに移動。逃げ遅れ役職員2名が緊張した様子でベランダからバスケットへ移乗し、無事に1階まで避難を完了しました。また、館内では防火シャッターが作動する中、消火器や屋内消火栓による消火訓練および防災センターへの通報訓練、利用者の避難誘導など災害を想定した実地訓練に真剣に取り組みました。避難完了後は、品川消防署の号令のもと、各町会の消防団による一斉放水訓練を行いました。



品川消防署東品川出張所長および品川消防団長より講評を頂き、防災訓練の重要性を再認識しました。最後に西村理事長より近隣四町会および関係者の方々に対し、感謝の言葉と今後のご協力をお願いし訓練を終了しました。

町会の皆様等多くの方々に参加をいただき貴重な防災訓練を無事に終了しました。ご協力ありがとうございました。

当日は、BCP(事業継続計画)に基づく職員参集訓練も実施しています。

(防火管理者)

自衛消防技術審査会

10月17日(木)、自衛消防技術審査会が大井町のJR東日本東京車両総合センターを会場に行われました。

今年は24隊の出場があり、福栄会本部から男子隊として川合快弥(東海ホーム)・藤江将也(第一しいのき学園)が、障害児者総合支援施設から女子隊として溝上翔子・石田美結が臨みました。

審査会出場経験のある先輩職員から約2か月間指導を受け、審査会前日まで猛練習を行ってきました。残念ながら入賞は逃しましたが、他の出場隊に引けを取らない消防技術を披露しました。

勤務の合間を縫って猛練習を行った隊員の皆さん、本当にお疲れ様でした。

(防火管理者)



東海中学校職業体験

11月28日(木)～29日(金)、東海中学校8年生の職業体験をしいのき学園、東品川在宅サービスセンター、東海ホーム、晴楓ホームにて受け入れました。

体験中は仕事内容の説明を行い、利用者の皆さんと話をしたり、車椅子の操作方法を学んだり利用者の皆さんと談笑されたり、おしぼりたたみや清掃等の仕事を体験していただきました。

利用者の皆さんも、笑顔を浮かべながら学生さんに部活動や得意科目等を質問していました。

2月15日(土)、東海中学校で今回の職業体験等の発表会があり、「今回の経験で将来、自分達も他者の役に立つ仕事に就きたいと思いました」等の感想をいただきました。

(吉原)



東海ホーム 紅葉ドライブ

12月3日(火)、紅葉ドライブを実施しました。

都内にある紅葉の名所、ソニー通りや外苑のイチョウ並木、東京タワー、丸の内を見た後、夕暮れ時に合わせ都内の街並みを通り、表参道の約1kmにわたるシヤンパンゴールドカラーの優しい光を感じたり、帰り道には、目黒川沿いの桜色に輝くイルミネーションのトンネルを通って帰宅しました。

今回は、ドライブコースを変更し、出発時間を遅くした事で、紅葉とイルミネーションの両方を楽しみ事ができました。利用者の皆様は、「今までで一番良かった!」と、大変喜ばれていました。

(櫻井・町田)



ボランティア活動の報告

11月1日(金)、一般社団法人mirai(ミライエ)様の地域貢献活動が福栄会本部で行われました。

当日は、5名の皆さんが来園されたため、中庭の清掃と館内の階段清掃をお願いしました。肌寒い中、大変丁寧に清掃活動をしていただきました。

mirai様は、(株)サーティーワンアイスクリームが設立した一般社団法人で子ども食堂へのサポートや朝食支援活動等の様々な地域貢献活動に取り組まれています。能登半島地震に対しても被災者を元気づけるイベント活動を継続して行っているとのこと。本社が上大崎にあることから今回活動のご縁が出来ました。今後も地域に貢献できるイベントを一緒に考えていきたいと思っています。

(吉原)



海外研修報告①

障害者福祉部



令和5年11月27日～12月1日の間、マ

カオで開催されたアジア知的障害者会議に、障害者福祉部の職員2名が参加しました。会議では、様々な国の福祉政策が



発表されました。組織がより良いサポートを提供する、障害をもった方が潜在能

力を最大限に発揮し、セルフケアなどの必要なスキルを習得できるよう支援する、重度の子どもを含めた遊びの機会の提供、その他多くの施策を知ることができました。様々な国の人たちがこうして集まり、自国の福祉の背景や課題、取り組みを発表することによって、福祉に対する理解も広がり、他の国の新たな取り組みのきっかけにもなるのではないかと思います。同じツアーに参加されていた日本の職員や利用者さんとも沢山関わることで、法人外との繋がりを持てたことはとても良い刺激になり新鮮でした。



○施設見学（就労継続支援B型事業所）

研修3日目の午前中は、見学したい施設を自分で選択し、



グループで回る時間でした。私は就労関係の施設を回りました。利用者さんが作ったものをお店で販売していたり、カレンダーを作ったり、喫茶店やクリーニングの作業を行っているところを見学できました。喫茶店では、利用者さん

の体調に合わせて営業時間を半日に行っているなど工夫がなされているなど工夫がなされていました。本人のペースに合わせて一日のスケジュールが考えられており、



「利用者主体」であることを改めて知ることができました。

今回の研修で海外の方との交流も沢山でき、とても充実した5日間でした。



（西大井福祉園 由衛）

○施設見学

（入所施設・生活介護通所施設）

私は入所施設と生活介護の通所施設を見学させていただきました。入所施設はまだ開設されたばかりなこともあって設備がとても整っており、特にリハビリ器具が充実していて、一人ひとりに合わせた運動プログラムが行われていました。通所施設では、利用者の特性に合わせて4つの部屋に分かれており、利用者の人数に対して十分な職員数が配置されていました。また、活動の時間には一人ひとりに合わせた活動が提供されており、日本と支援の内容にあまり変わりがない印象を受けました。どちらの施設も地域の方々との交流を大切にしており、地域に開かれた施設を意識していることが伺えました。

（かがやき園 宮武）



海外研修報告②

高齢者福祉部



令和6年12月1日～同8日の間、ノルウェーのオスロ、トロンハイムにノルウェー認知症支援視察研修に行きました。ノルウェーは税率や物価が高い国と言われますが、出産費用や学費は無料、医療費も年間自己負担額を超えた分は無料という社会保障の充実した国です。日本と同様高齢化が進んでいます。グローバルエイジウォッチ指数（高齢者の住みやすさ指数）で世界一位を獲得しているほどです。

ノルウェー政府は高齢者に対して医療や年金など社会保障を充実させる一方で、元気な高齢者は現役で働き、地域社会で活躍できるように高齢社会に向けた政策に取り組んでいます。

本研修では日本認知症の予防学会・理事長をはじめ、看護師、理学療法士、医師、ケアマネ、グループホーム管理者等と13名の各専門分野の方々が参加されました。簡単に視察した施設を説明します。

①ノルウェー国立高齢者健康センター…ノルウェーにおける高齢者医療と健康に関する実践の推進を行う国立の専門機関

②国立公衆衛生協会…健康促進と病氣予防を目的に活動している公益団体

③ナーシングホーム…高齢者向けの福祉施設。特に介護が必要な高齢者や認知症患者の方の為に、医療・介護スタッフが二十四時間体制でサポートし、地域社会との連携も重視し、地元のボランティアや家族との交流の場も積極的に設けられている為、国内でも評価されている施設のひとつ

④認知症村…オランダの認知症村。ホフウェイグに触発され2023年にオープン。この施設は認知症患者に焦点を当てて設計されており、住民が自由に自立した生活を送れる様に環境が整えられている



⑤サーゲネ高齢者センター…高齢者住宅で認知症関連のサポートを含む高齢者向けの様々なサービスを提供している。67歳以上で現在の住居環境に問題があり、在宅での生活が困難な方、環境の整った施設で自立した生活を送る事ができる方が入居している

各施設を視察した中で感じたことは、認知症患者の方が本人の意思で自由に行動できるよう、環境作りをしている点で、日本との違いを強く感じました。

私達が生活している中にあるコンビニエンスストアやカフェ、図書館といった場所が認知症村にもあり、日常的に利用していました。日本では認知症患者の方の生活を考えるとリスク回避が優先になり、行動範囲を狭めてしまっている事に改めて気づきました。

今回の経験を活かし尊厳を保ちながら、活動を制限せずに生活を楽しめる環境作りを行っていききたいと思います。

（東品川在宅サービスセンター）

松園 弓枝



ご寄付御礼

ご寄付ありがとうございます

◎ アンカージャパン(株)様

▽ 第二しいのき学園・南品川むつみ園・かがやき園へ

コードレス水拭き掃除機 3台

◎ 株式会社佐美鋲油 様

▽ 法人へ

4層構造サージカルマスク 50枚入り
2500個

◎ 品川区選挙管理委員会 様

▽ 晴楓ホーム及び東海ホームへ

品川区共通商品券 500円×21枚



年末年始は、中庭にクリスマスイルミネーションを飾りました

編集後記

◇「ふくえいだより」101号をお届けします。ようやく冬も終わり、春を迎えました。気持ち新たに、毎日を新鮮な気持ちで利用者の皆さんと過ごしていきたいと思えます。5月11日「福栄会まつり」いらしてください。お待ちしております。(吉原)

福栄会基本方針

① 運営方針

1. 利用者を中心とした施設運営
2. 地域福祉事業との一体化
3. 総合施設としての機能の発揮

② サービス方針

1. 「自立の援助」と「相互援助」
2. 専門的・科学的サービスの提供

福栄会では個人情報取扱いを適正に行い、個人情報の保護に関する法律に基づいて厳正に管理いたします。

福栄会総合情報誌(年3回発行)

「ふくえいだより」

第101号(春号)

2025年(令和7年)5月20日発行

編集人 吉原 伸一

発行人 西村 信一

発行所 社会福祉法人 福栄会

〒140-0002 品川区東品川3-1-18

TEL 03(5479)2981(代)

FAX 03(5479)2943

福栄会施設一覧 ※品川区からの運営委託施設を含む。

●高齢者福祉部施設一覧

- ☆晴楓ホーム(特別養護老人ホーム)
- ☆併設型短期入所生活介護(ショートステイ)
- ☆東海ホーム(軽費老人ホームA型)
- ☆東品川在宅サービスセンター
- ☆東品川在宅併設型認知症対応型通所介護(ぽかぽか・なごみ)

- ☆東品川在宅介護支援センター
- ☆大崎在宅サービスセンター
- ☆大崎在宅単独型認知症対応型通所介護
- ☆大崎在宅介護支援センター
- ☆五反田保育園ふれあいデイホーム
- ☆ヘルパーステーション東品川
- ☆東品川わかさ荘(高齢者住宅)

●児童福祉部

- ☆家庭あんしんセンター(児童関連施設)
- ☆平塚ゆうゆうプラザ(施設貸出・多世代交流他)
- ☆東品川ゆうゆうプラザ(施設貸出・多世代交流他)
- ☆ぶりすくーる西五反田(幼児教育・保育園・子育て支援他)

●障害者福祉部

- ☆第一しいのき学園(障害福祉サービス事業 生活介護)
- ☆第二しいのき学園(障害福祉サービス事業 就労継続支援B型)
- ☆南品川むつみ園(障害福祉サービス事業 生活介護)
- ☆西大井福祉園(障害福祉サービス事業 生活介護・就労継続支援B型)
- ☆西大井つばさの家(障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆グループホーム金子山-森前ユニット(障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆グループホーム金子山(障害福祉サービス事業 共同生活援助)
- ☆品川区東品川障害者相談支援センター(指定特定相談事業所)
- ☆品川区東品川障害者計画相談支援事業所(指定特定相談事業所)
- ☆かがやき園(障害者支援施設 施設入所支援 生活介護 短期入所)
- ☆かもめ第一・第二・第三工房(障害福祉サービス事業 就労継続支援B型)
- ☆精神障害者地域生活支援センターたいむ(地域生活支援事業 相談支援・地域活動支援センター)

●品川区立障害児者総合支援施設(くるっぽ)

- ☆品川区立品川児童学園
- ☆品川区南品川障害児者相談支援センター
- ☆障害者支援(生活介護 就労継続支援B型 短期入所 地域活動支援センター)
- ☆訪問系サービス